

令和2年度シラバス（芸術）

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	芸術（音楽Ⅰ）	単位数	2単位	学年	1 学年
使用教科書	教育出版『音楽Ⅰ 改訂版 Tutti』				
副教材等	教育芸術社『改訂 音楽通論』『音楽の鑑賞資料と基礎学習』				

1 学習目標

歌唱、器楽演奏の基本を学び、音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、総合的な表現を鑑賞の能力を伸ばす。

2 指導の重点

- ・歌唱、器楽演奏の基本、音楽の基礎、特徴を学び、興味をもち実践へつなげることを目指す。
- ・様々な時代、分野の音楽に触れ、興味をもち理解につなげることを目指す。
- ・音楽表現の実技発表や練習・反省を通して達成感や感動、自信などの豊かな心情を育てる。
- ・箏（琴）の演奏を通して和の心を養い、日本伝統芸能への興味をもち理解につなげることを目指す。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	声を出そう 歌おう	今咲き誇る花たち 故郷 翼をください	正しい腹式呼吸や発声、音程感持つ等、歌唱の基本を学ぶ。	4	授業の取組 鑑賞プリント
	器楽に挑戦 (ギター演奏)	ギターエチュード	クラシックギターの基本（構え方から調弦）を学ぶ。		
	鑑賞	ピアノ	ピアノの誕生、その発展と音色の変化を学ぶ。		
5	世界の歌①	Santa Lucia O sole mio	歌詞の内容、旋律の流れを理解し音楽表現につなげる。	7	授業の取組 楽典プリント
	ギターに親しむ①	ギターエチュード	クラシックギターの基本（奏法）を学ぶ。		
	楽典①	音楽通論 音楽の基礎学習	音符、リズム、拍子、調子などを学び、演奏につなげる力をつける		
6	世界の歌②	Caro mio ben 野ばら	歌詞の内容、旋律の流れを理解し音楽表現につなげる。	6	授業の取組 鑑賞プリント
	ギターに親しむ②	ギターエチュード カントリーロード	クラシックギターの基本を学ぶ。 小曲に挑戦。		
	鑑賞	オーケストラの楽器	楽器の音色とオーケストラでの役割を学ぶ。		
7	季節の歌	季節の歌 夏の思い出	歌詞の内容、旋律の流れを理解し音楽表現につなげる。	5	授業の取組 ギターテスト 鑑賞プリント
	ギターに親しむ②	ギターエチュード カントリーロード	クラシックギターの基本を学ぶ。 小曲に挑戦		
	鑑賞	オーケストラ曲①	オーケストラ曲の名曲を味わう。		
8	鑑賞	オーケストラ曲②	オーケストラ曲の名曲を味わう。	3	鑑賞プリント
9	日本の歌①	少年時代 浜辺の歌	歌詞の内容、旋律の流れを理解し音楽表現につなげる。	8	授業の取組 楽典プリント
	和楽器に挑戦	琴エチュード	琴の基本（構え方から調弦）を学ぶ。		
	楽典②	音楽通論 音楽の基礎学習	音符、リズム、拍子、調子などを学び、演奏につなげる力をつける		

10	日本の歌②	浜辺の歌 この道	歌詞の内容、旋律の流れを理解し音楽表現につなげる。	8	授業の取組 楽典プリント
	琴に親しむ①	さくらさくら もみじ	琴の基本（奏法）を学ぶ。 小曲に挑戦		
	楽典③	音楽通論 音楽の基礎学習	音符、リズム、拍子、調子などを学び、演奏につなげる力をつける		
11	日本の歌③	この道 椰子の実	歌詞の内容、旋律の流れを理解し音楽表現につなげる。	8	授業の取組 琴テスト 楽典プリント
	琴に親しむ②	ふるさと もののけ姫	琴の基本（奏法）を学ぶ。 小曲に挑戦		
	創作	音楽通論 音楽の基礎学習	和声進行を学び、簡単な旋律を創作。和音付け、伴奏付け。音楽の構造を学ぶ。		
12	発表会 (練習と本番)	自主課題曲 世界に一つだけの花	ソロ又はチームになり、自主練習を重ね、音楽する喜びを味わう。 合唱の喜びを味わう。	18	授業の取組 発表会
1					
2					
3	鑑賞	オペラ 『愛の妙薬』	総合芸術を理解し、オペラを楽しみ味わう。	3	鑑賞プリント

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・鑑賞、楽典では配布されたプリントの提出が必要となります。
- ・冬期休業中の課題は別途指示します。(日本伝統芸能に関するレポート)

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組むことができる。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創意的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、授業の取組（授業態度や学習活動への参加状況）、感想文、プリント、副教材などの提出内容、実技テストや筆記テストなどから、総合的に評価します。

6 担当者からの一言

クラシック音楽は堅苦しいものではなく日常生活の身近にあり、一生付き合えるものです。様々な音楽に触れ、心身ともにリフレッシュして、音楽で自己表現しましょう。年度末に演奏録音CDを差し上げます。